

## ICT 研究開発戦略に関する検討課題(案)

論 点	検 討 課 題
1 UNS 戦略プログラムの現行化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ この2年間における研究開発の進捗は、プログラムに沿っているか。</li> <li>・ 研究開発の進展により、新たな課題が発生していないか。</li> <li>・ 10の研究開発プロジェクトのくり直し等は必要か。</li> <li>・ ロードマップをより詳細化する必要はあるか。</li> <li>・ 諸外国における研究開発動向を踏まえた見直しは必要か。</li> <li>・ 民間企業や研究開発独立行政法人の研究開発戦略に変化はないか。ある場合、それを踏まえたプログラムの見直しは必要ないか。</li> <li>・ 現在のプログラムは、産学官で共有するものとして十分な形態か。</li> </ul>
2 国際競争力強化の視点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国際競争力強化のために、戦略に新たに入れ込むべき点は何か。</li> <li>・ すべての分野を網羅的にカバーするのではなく、緊急性等の観点から特に重要な研究開発テーマの大胆な選択(絞り込み)・優先度付けを行うか。</li> <li>・ 中長期的な国際競争力の源泉となりうる独創性、創造性に富む基礎的研究開発を促進するためには、どのような方策が必要か。</li> <li>・ 現行の研究開発制度(競争的資金制度や委託研究制度)は有効といえるか。改善するとすれば何が問題か。</li> <li>・ 研究開発において、国際的に Win-Win となるような関係を構築していくためには何が必要か。</li> <li>・ 欧米、北東アジア、東南アジア等、地域に適した国際連携をどのように進めていくか。</li> <li>・ 研究開発拠点(集合知センター)を整備・拡充することが研究開発の効果的・効率的な実施につながる研究開発分野は何か。</li> <li>・ 研究開発だけでなく、標準化活動、知的財産の確保・活用をも考慮に入れた戦略を、産学官でどのように練り上げていくか。</li> </ul>

論 点	検 討 課 題
3 中長期的な視点と短期的な視点のバランス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中長期的な視点をもって実施する研究開発と、短期的な成果を求める研究開発とのバランスをどのように取っていくか。</li> <li>・ 研究開発やその成果の展開に社会のニーズを適切に反映するためにはどのようなことが必要か。</li> </ul>
4 産学官の役割分担	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 産学官の役割分担は明確か。それぞれが互いに期待することは何か。</li> <li>・ 情報通信分野の競争環境の変化により、研究開発における産学官の役割も適宜</li> <li>・ 現在、さまざまな分野で設立されている産学官連携を目的としたフォーラムは、うまく機能しているか。改善点等はないか。</li> <li>・ 独立行政法人として、NICT に期待されていることは何か（民間企業や大学だけでは行えない役割は何か）。</li> <li>・ 産学官は、それぞれ研究開発人材の育成にどう取り組んでいくか。</li> </ul>
5 研究開発の推進体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研究開発を産学官が進めるにあたって、障害となるものは何か。</li> <li>・ 研究開発を効率的に進めるためには、PDCA サイクルのようなものの導入は有効か。</li> <li>・ 研究開発戦略の見直しは、定期的に行うべきか。</li> </ul>

ICT 標準化強化戦略、知的財産強化戦略に関する検討課題(案)

論点 (ICT 標準化・知的財産強化プログラム)	検討課題
1 ICT 標準化・知財センターの設置	<ul style="list-style-type: none"> <li>標準化・知財戦略の中でICT標準化・知財センターが担うべき機能はどのようなものか。</li> <li>ICT標準化・知財センターの運営主体、組織形態及び運営コストの負担のあり方をどう考えるか。</li> <li>民間企業等がセンターの活動に積極的に参加するために有効な方策はどのようなものか。</li> </ul>
2 ICT 国際標準化戦略マップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICT国際標準化戦略マップには、主要な産業(商品)、技術分野毎にどのような情報をマッピングするのが有効か。</li> <li>ICT国際標準化戦略マップの運用主体及び定期メンテナンス方法をどうするのか。コストはどの程度か。</li> <li>オープン性が求められている中での標準化戦略とはどのようなものか。</li> </ul>
3 ICT 標準化エキスパートの選定	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICT標準化エキスパートの役割、選定基準及び育成方法についてどのように考えるか。</li> <li>ICT標準化エキスパート制度の実施体制についてどのように考えるか。</li> </ul>
4 ICT 国際標準化推進ガイドラインの策定	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICT国際標準化推進ガイドラインは誰を対象にすべきか。</li> <li>ICT国際標準化推進ガイドラインにはどのような項目や指標を規定すべきか。</li> </ul>
5 標準化団体の活動強化・相互連携等	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象となる標準化団体と、民間の各種フォーラム活動等をどのように関連づけるのか。</li> <li>標準化団体の連携の目的及び具体的な連携内容についてはどのように考えるか。</li> </ul>
6 企業の標準化活動への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在でも旅費支援等のスキームがあるが、国際競争力強化のための標準化活動への更なる公的支援の在り方はどうあるべきか。</li> <li>SCOPEをはじめとする研究開発支援制度について標準化により一層貢献するためにはどのような見直しが行われているか。</li> </ul>
7 アジア・太平洋地域における連携強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>アジア・太平洋地域内における共同研究のニーズをタイムリーに把握するにはどのような体制、手法が有効か。</li> <li>共同研究の予算及びその実施にはどのようなスキームが有効か。</li> </ul>
8 ICT 知的財産強化戦略の策定	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICT 知的財産強化戦略として共通的に定める事項としてどのような項目があるか。</li> </ul>
9 ICT パテントマップの整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICTパテントマップが対象とする産業(商品)・技術領域はどのように決定するのが有効か。</li> <li>ICTパテントマップのメンテナンスを行うための体制、コストの負担のあり方をどう考えるか。</li> </ul>
10 民間相談窓口の活用促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存の民間相談窓口の活用を促進するためにはどのような方策が有効か。</li> </ul>

